

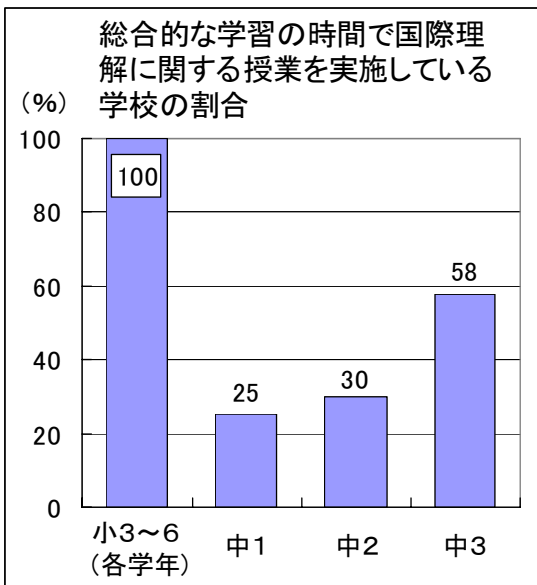
**取組 2 3 国際理解教育の推進**

○ 現状

経済のグローバル化等の進展による国際的な人や物の交流が増す中、21世紀に生きる子どもたちは、国際社会への理解を身につけることが重要です。

世界は多様な文化や価値観を持った人々で成り立っており、その多様な文化や価値観を持った他者を理解し、協力・共存できる態度や資質を育むことは、学校教育の果たす大きな役割の一つです。

本県では、伊勢崎市、太田市、大泉町を中心に日系ブラジル人が多く居住しており、公立小中学校では社会科などの各教科、特別活動や総合的な学習の時間などを通して、積極的に国際理解教育の推進に取り組んでいます。我が国の文化・伝統とともに、ブラジル等の歴史や文化、伝統等の理解を深める教育が展開されています。



【授業での事例：国際理解講座】

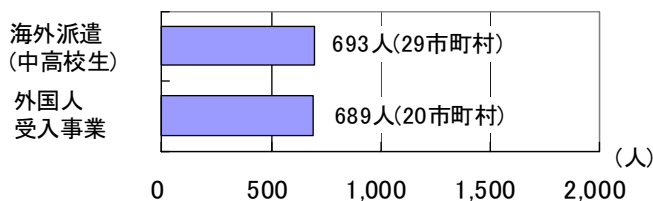
本県では、平成9年度から本県出身の青年海外協力隊員や県内在住の留学生を小中学校へ派遣し、海外の文化や生活を紹介しています。

(平成19年度：小学校48校、中学校10校)

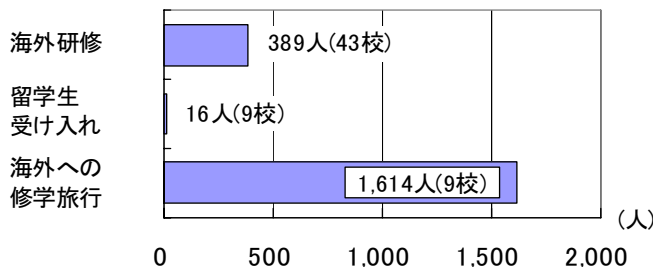


また、中学校・公立高校では、お互いの文化、習慣、価値観等を理解し合い、異なる文化や生活習慣を持つ人々と協調していく態度を育成するため、姉妹都市や姉妹校等との児童生徒の交流活動や海外への修学旅行など、体験的な学習を行っています。

市町村での交流活動(平成19年度)



公立高校での交流活動(平成19年度)



【交流活動の事例：アジア農業高校留学生受入】

アジア諸国から農業を学ぶ高校生を農業系高校へ受け入れています。

(平成20年度：5カ国、15人)



## ○ 課題

- ・児童生徒の外国人とのコミュニケーションを図る能力の育成につながる体験的な学習活動を行うこと
- ・地域に住む外国人との共生・相互理解（多文化共生への理解）を深めること
- ・我が国や郷土の伝統、文化などへの理解を深めること

## ○ 取組の方向

- ・児童生徒と外国人留学生や外国生活経験者等との交流などの体験的な学習活動を推進します。
- ・地域に住む外国人児童生徒の文化を取り入れた学習を推進します。
- ・地域の伝統や文化を学ぶふるさと学習を推進します。（取組13参照）

## ○ 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
・ <b>国際理解講座（小中学校）</b> 本県関係者の海外生活体験等を県内の小中学校に広く紹介することにより、児童生徒の国際協力活動への意識啓発や異文化への理解促進を図ります。	国際課
・ <b>多文化共生の視点を取り入れた体験学習（小中学校）</b> 地域に住む外国人の文化を取り入れた体験学習を推進します。	国際課 義務教育課
・ <b>農業系高等学校のアジア農業高校留学生受入</b> アジア諸国から農業高校生を留学生として受け入れ、本県高校生とアジアの高校生の相互理解を促進します。	国際課 高校教育課
・ <b>群馬県警察国際少年柔道教室（GPIキッズJUDOスクール）の開催</b> 外国人の児童生徒を対象に、柔道を通して社会のルールや日本の文化を紹介するなど、少年の健全育成や多文化共生への理解を図ります。	県警警務課国際 対策室

## ○ 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
・ 国際理解講座参加校数（小中学校）	(H19) 59校	増加
・ 外国人留学生等との交流を実施している公立高校	29校	35校

## トピックス

### 明石塾

県立女子大学外国語教育研究所の明石康所長（元国連事務次長）を塾長に迎え、平成14年度から「国際舞台で活躍できる、高い志と行動力に富んだ若者を育てる」ことを目的に県内高校から選考された高校生10名を対象として約8ヶ月間の実践的な研修を実施しています。

（主な研修内容）

- ・ ネイティブスピーカーによる実践的な英会話研修
- ・ 国際理解や日本文化に関する講義
- ・ 海外での国際協力現場見学や学校訪問

